

令和3年第1回定例会（2月議会）
所管事項審査関係資料

令和3年2月10日
総務部

【所管事項】

資料1 令和3年度の組織再編について

(人事課)

資料2 秋田縣市町村未来づくり協働プログラム～潟上市プロジェクト～
「安全『防災』・安心『健康』潟上プロジェクト」事後評価について

(総合防災課)

令和3年度の組織再編について

令和3年2月10日

人 事 課

新たな行政課題に対応するため、次のとおり組織再編を行う。

1 組織機能の強化

①デジタル政策推進課【企画振興部】

デジタル化による行政の効率化及び県民の利便性向上のため、「情報企画課」が所掌している行政手続き等のデジタル化をより強力に推進することとし、名称を「デジタル政策推進課」に改める。

更に、デジタル化統括監を配置するとともに外部人材も活用し、産業労働部産業政策課デジタルイノベーション戦略室と一体的にデジタル社会の推進を図る。

②エネルギー・資源振興課【産業労働部】

2050年までのカーボンニュートラル達成に向け、各産業分野における取組が今後加速していく中、「資源エネルギー産業課」で所掌している新エネルギーについて、これまでの導入に関する取組を更に加速させ、風車などのメンテナンスのみならず関連産業の育成や県内立地も含めた活用面に関する取組を進め、県内経済の活性化を図ることとし、名称を「エネルギー・資源振興課」に改める。

2 組織の廃止

被災者受入支援室【企画振興部】

県内避難者の受入支援に関する業務については、これまでもニーズに対してきめ細かな対応をしてきたところであるが、東日本大震災から10年が経過し、業務内容が定型化し、業務量も減少していることから、被災者受入支援室を廃止のうえ、当該業務については、総務部総務課内に設置する被災者支援班において、社会福祉協議会等の関係団体とも連携を図りながら、引き続き実施する。

令和3年度 組織再編関連

令和2年度	令和3年度（詳細は調整中）
<p>(1) デジタル化関連</p> <p>企画振興部</p> <p>情報企画課</p> <p>課長、ICT戦略推進監</p> <ul style="list-style-type: none"> ①調整・デジタルガバメント推進班 班長、班員 ②情報基盤・システム管理班 班長、班員 <p>産業労働部</p> <p>産業政策課デジタルイノベーション戦略室</p> <p>室長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタルイノベーション戦略班 班長、班員 	<p>企画振興部</p> <p>デジタル化統括監（産業労働部次長兼任）</p> <p>デジタル政策推進課</p> <p>課長、ICT戦略推進監</p> <ul style="list-style-type: none"> ①調整・DX推進班 班長、班員 ②デジタルガバメント推進班 班長、班員 ③情報基盤・システム管理班 班長、班員 <p>産業労働部</p> <p>産業政策課デジタルイノベーション戦略室</p> <p>室長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタルイノベーション戦略班 班長、班員
<p>(2) エネルギー関連</p> <p>産業労働部</p> <p>新エネルギー政策統括監</p> <p>資源エネルギー部産業課</p> <p>課長、政策監</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新エネルギー産業班 班長、班員 ②エコタウン班 班長、班員 ③産業保安班 班長、班員 ④金属リサイクル班 班長、班員 	<p>産業労働部</p> <p>新エネルギー政策統括監</p> <p>エネルギー部資源振興課</p> <p>課長、新エネルギー推進監、政策監</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新エネルギー振興班 班長、班員 ②新エネルギー活用班 班長、班員 ③エコタウン班 班長、班員 ④産業保安班 班長、班員 ⑤金属リサイクル班 班長、班員

秋田県市町村未来づくり協働プログラム ～潟上市プロジェクト～ 「安全『防災』・安心『健康』潟上プロジェクト」事後評価について

令和3年2月10日
総合防災課

1 プロジェクトの目的

潟上市は沿岸部に位置しており、大規模地震発生時の津波被害への対応が必要であるほか、今後の人口減少や高齢化率の上昇を見据え、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっている。

このため、防災と健康の中核となる施設を整備し、自主防災組織の育成や住民の防災意識の向上等を推進するほか、若い年代から健康づくりに積極的に取り組むことができる環境を整え、安全・安心で元気な地域となることを目指す。

2 プロジェクトの概要

事業内容	事業費
【潟上市実施事業】 ○防災と健康の拠点づくり 防災・健康拠点施設「トレイクかたがみ」の整備 ○防災体制の充実強化 潟上市地域防災拠点活用計画及び災害時における緊急物資の 調達・輸送・供給マニュアルの作成 等 ○運動習慣の定着を目指した健康づくりの推進 健康づくりのための運動プログラムの提供 等	918,330千円 (うち交付金 200,000千円)
【県実施事業】 ○県備蓄の分散化 トレイクかたがみ防災備蓄倉庫への物資移設 ○自主防災アドバイザーの派遣 ○生活習慣病の実態周知 がんや生活習慣病予防、受動喫煙防止の普及啓発	285千円
【協働実施事業】 ○災害時の救援物資供給の仕組みづくり 物資輸送訓練の実施 等 ○大規模災害を想定した防災訓練 ○地域・職域連携による地域ぐるみの健康づくり基盤整備 インターバル速歩講演実践会等の開催	264千円

3 プロジェクトの成果指標と達成状況

指標名	基準値 (H27)	目標値 (R1)	実績値 (R1)	達成率 (%)
新施設利用者数	—	15,400人	52,316人	339.7%
自主防災組織率	35.5%	60.1%	42.4%	70.5%
健康づくり目的利用者数	—	8,600人	44,596人	518.6%

4 全体評価

本プロジェクト事業で整備した「トレイクかたがみ」については、潟上市民の健康づくりに広く活用され、健康寿命の延伸にも繋がっているものと評価できる。

「自主防災組織率」については、自主防災組織の育成等に係る事業の効果が、プロジェクト期間のみでは十分な浸透が図れず、目標達成には至らなかったところである。

このため、今後も住民等の防災意識の高揚を図るとともに、自主防災アドバイザーの派遣などにより自治会に対して自主防災組織の必要性を説明するなど、更なる組織率の向上を推進していく必要がある。

5 今後の推進方針

全体評価や民間アドバイザー（岡山理科大学教授 鎌滝 孝信 氏）の意見等を踏まえ、次のとおり推進するものとする。

(1) 防災・健康づくり拠点の利活用の更なる推進

防災・健康拠点施設「トレイクかたがみ」については、引き続き、施設・イベント情報を広く発信していくほか、更なる施設利用を推進していくため、災害と健康づくりの両機能の拠点という当施設の強みを生かし、災害時を想定した感染症予防に関する研修会等の新たなメニューによる事業展開を検討する。

(2) 防災体制の充実強化

市主催の総合防災訓練や県のアドバイザー派遣事業の活用、実践的な防災研修の実施により、住民の防災意識の更なる高揚を図る。

令和元年度に育成した自主防災リーダーと連携しながら、自治会に対して防災に関する講習や防災訓練への参加の働きかけ等を行うことにより、自主防災組織の新規立ち上げや既存組織の活性化を進め、人口減少が進む中においても地域防災力の維持向上を図っていく。

(3) 運動習慣の定着を目指した健康づくりの推進

健康の維持・増進と生活習慣病の発症及び重症化を予防することを目的に、市の健康課題や生活習慣病予防・重症化予防について周知するとともに、個々の健康状態に合わせた実践方法について知識の普及・啓発を図る。

さらに、各個人が健康状態に合わせた運動ができるよう、引き続きカウンセリングやアドバイスを適宜行う。